

岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事

図面リスト					
図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
(意匠図)				(構造図)	
A-00	図面リスト	A-18	改修 屋根 平面図	S-01	改修工事 構造特記仕様書（1）
A特-01	建築改修工事特記仕様書 1	A-19	改修 立面図	S-02	改修工事 構造特記仕様書（2）
A特-02	建築改修工事特記仕様書 2	A-20	改修 矩計図	S-03	基礎伏図
A特-03	建築改修工事特記仕様書 3	A-21	改修 新設ステージ 詳細図 1	S-04	ギャラリー面伏図
A特-04	建築改修工事特記仕様書 4	A-22	改修 新設ステージ 詳細図 2	S-05	軸組図
A特-05	建築改修工事特記仕様書 5	A-23	改修 玄関・各便所 平面詳細図、展開図	S-06	壁面ブレース改修 鉄骨詳細図
A-01	配置図	A-24	改修 部分詳細図	S-07	ステージ 鉄骨詳細図
A-02	既存・改修 仕上表	A-25	改修 アリーナ 展開図 1	S-08	体育器具受け 鉄骨詳細図
A-03	既存 1階 平面図	A-26	改修 アリーナ 展開図 2		
A-04	既存 キャットウォーク・屋根 平面図	A-27	改修 床伏図 1		
A-05	既存 立面図	A-28	改修 床伏図 2		
A-06	既存 矩計図	A-29	改修 天井伏図		
A-07	既存 アリーナ 展開図 1	A-30	改修 建具配置図		
A-08	既存 アリーナ 展開図 2	A-31	改修 建具表		
A-09	既存 玄関・器具室 詳細図	A-32	改修 コートライン、支柱 詳細図		
A-10	既存 便所 詳細図	A-33	改修 バasketゴール、防球ネット 詳細図		
A-11	既存 玄関・器具室・便所 展開図	A-34	改修 体育機器基礎 詳細図		
A-12	既存 1階 床伏図	A-35	改修 ステージ吊物装置配置図・仕様表		
A-13	既存 天井伏図	A-36	改修 手動スクリーンプロット図		
A-14	既存 建具配置図	A-37	改修 収納台車詳細図		
A-15	既存 建具表	A-38	【参考】仮設計画図		
A-16	改修 1階 平面図				
A-17	改修 キャットウォーク 平面図				

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				

工事名 岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事 特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所 二戸市石切寺火塚2番1 (用途地域: 準工業地域 防火地域: 無)

2. 敷地面積 46,930.20㎡

3. 工事種別 改修工事

4. 工事規模 体育館: 鉄骨造・平屋建て (その他) 延べ面積 613.90㎡

5. 工事範囲 (外部) 外壁・屋根改修・スロープ新設 (内部) 床改修・ステージ新設・トイレ改修・バリアフリートイレ新設等

上記の建築工事 一式

II. 改修工事仕様

1. 共通仕様

図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。) による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。) による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記仕様は、●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記仕様書に記載の【 】内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
() 内表示番号は、標準仕様書の、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) ☐印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (平成31年2月変更閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。
(5) 特記仕様書に記載の【 】文は、本工事における特記事項を示す。

1 適用基準

図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。

- 建築物解体工事共通仕様書 (令和4年度版) 一般社団法人 公共建築協会
- 建築工事監理指針 (令和4年度版) 一般社団法人 公共建築協会
- 建築改修工事監理指針 (令和4年度版) 一般社団法人 公共建築協会

・本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。

- 建築工事標準詳細図 (令和4年度版) 一般社団法人 公共建築協会
- 工事写真撮影ガイドブック (平成30年版) 一般社団法人 公共建築協会

② 工事実績情報 システムへの登録 (CORINS)

③ 施工管理技術者

- 施工管理技術者は、工事に相応した能力を有する者とし、工事の施工、製作に係る指導及び品質管理を行う。
- 施工管理技術者の資格等の能力を証明する資料を、監督職員に提出する。

4. 電気保安技術者

- ・適用する

5. 施工条件

- ・標準仕様書1.3.5 (1) 以外の施工条件については、現場説明書による。

⑥ 発注者の指示

- ・発注者に引渡しを要するもの
- ・現場説明書による
- ・特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法
- ・現場説明書による
- ・現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの
- ・現場説明書による

○本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場 (中間処理施設経由を含む) に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

⑦ 環境への配慮

(1) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号。以下「グリーン購入法」という。) に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努める。

(2) 使用する材料は、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮し、かつ、石綿を含有しないものとする。

⑧ 化学物質の濃度測定

測定化学物質

- ※ホルムアルデヒド ○トルエン ○キシレン
- エチルベンゼン ○スチレン ○パラジクロロベンゼン

測定方法 ○パッシブ型採取機器による

測定対象室及び測定箇所

- ※監督員の指示による

⑨ 建築材料等

(a) 原則として、全ての材料について監督員の承諾を受ける。

※図中の「商品名」は参考品番を示し、同等品以上とする。

⑩ 材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。

(3) 改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者は、次の①から⑤の事項を満たすものとし、その証明となる資料が発行するとし、その証明となる資料 (外部機関 (一社) 公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」) の評価の写し等を監督員に提出して承諾を受ける。

ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。

①品質及び性能に関する試験データを整備していること。

②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

- ・(一社) 公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料
- ・成形用鋼板、乾式保護材、セラミックタイル、既設合モルタル、既設合目地材、ルーフトレン、吸水性樹脂、防水剤、アルミニウム製建具 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)、樹脂製建具 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザー類、自動扉機構、自動式上り引下機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、錆防止剤

1-2 ① 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 [1.4.2]

② 技能士

③ 提出書類

14. 技術検査

15. 施工図及び施工計画書

16. 完成図

17. 工事完成写真

18. 設備工事の取合い

19. 施工調査

④ 提出書類

請負契約に定められている書類

(契約後) ○工事工程表 ○現場代理人等通知書 ○県外業者との下請契約締結報告書

(工事中) ○出来高検査票

(完成後) ○工事完成届 ○工事完成引渡書 (引渡図書目録添付)

改修標準仕様書、特記仕様書等に定められている書類

(契約後) ○製造所等承諾書 ○工事総合設計図書 ○現場技術員届

(工事中) ○各種工事施工計画書 ○各種工事施工図 ○工事作業日報

○主要資材規格又は品質証明書 ○各種試験成績書又は報告書

○主要資材納入検査簿 ○技能士合格証明書

(完成後) ○完成図 (修正設計図) ○責任施工保証書 ○各種届出書等

○官公署許可認可及び検査済書 ○維持管理取組書 (設備機器説明書含む)

※電子納品対象書類については、「岩手県電子納品ガイドライン」による

14. 技術検査 実施回数 () 回

実施する段階 ()

15. 施工図及び施工計画書 施工図及び施工計画書の提出について

(a) 施工図及び施工計画書は、工事の着手に先立ち、各工種において作成し監督員に提出する。

(b) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。

16. 完成図 ※監督員の指示による。 [1.7.2]

17. 工事完成写真 下記のものを監督員に提出する。

区分	分類	規格	撮影箇所数及びカメラ	部数	備考
着工前	※カラー		監督員の指示による。		
工事施工状況	※カラー	※C-D-R	(撮影計画を提出する)	2部	※500万画素以上
完成時	※カラー				

※電子納品対象書類については、「岩手県電子納品ガイドライン」による

18. 設備工事の取合い 施工範囲

- 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
- 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
- ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
- ・自動扉設置取付口の箇所切り込み及び補強

施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。

④ 提出書類

- 石綿含有材の調査 【8章参照】 5か所 [1.5.1]
- ・ 施工数量調査 【4章参照 (外壁躯体劣化部、クラック)】 [1.6.1]

調査範囲

- ・ 外壁躯体及び躯体塗装面の軒天井

調査方法

- ・ 目視、打診による確認 マーキング、計測、図面記入

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

1-3 一般共通事項

2 仮設工事

① 監督員事務所の備品等

② 工事用水

③ 工事用電力

5. 騒音・粉じん等の対策

6. 足場等

7. 既存部分の養生

① 監督員事務所

- ・ 設ける (規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による) [2.4.1]
- 設けない

② 監督員事務所の備品等

備品の種類	数量	備品の種類	数量	備品の種類	数量
机・椅子	組	両合羽	着	コピー機	台
書棚	台	懐中電灯	個	最高最低温度計	個
ゴム長靴	足	衣類ロッカー	人用	冷暖房機	台
工事用ヘルメット	個	湯沸器	台	消火器	個
黒板又はホワイトボード	個	パソコン (メール付)	台	掃除機	個
		電話 (・FAX付)	台		

③ 工事用水

構内既存の施設

- ・ 利用できる (・有償・無償) ○ 利用できない

④ 工事用電力

構内既存の施設

- ・ 利用できる (・有償・無償) ○ 利用できない

5. 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

- ・ 防音パネル
- ・ 防音シート
- 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示

6. 足場等 [2.2.1][表2.2.1]

内部足場

- ・ 設置する (※脚立、足場板等) ○ 簡易移動式足場 ○ 網足場

外部足場

- 設置する (・特種足場・単管足場 ○ さび緊結式足場)
- ・ 設置しない
- 防護シートによる養生 ○ 行う (・工事に必要な範囲)

材料、撤去等運搬方法

種類	A種	B種	C種	D種	E種
C種: 利用可能なエレベーター ()					
D種: 利用可能な階段 ()					

※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

7. 既存部分の養生 [2.3.1]

養生の方法等

- 既存部分
- ・ 既存家具、既存設備等 養生の方法 (※ビニルシート、合板)
- ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法 (※ビニルシート等)
- ・ 保管場所 (・ビニルシート等)
- ・ 備品、机、ロッカー等の移動 (・図示)

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所

- ・ 図示

仮設間仕切りの種類と材質等 [表3.3.1]

種類	下地	仕上材 (厚さ mm)	塗装	充填
・ A種	・ 木	・ せっこうボード (9.5mm)	・ 無し	グラスウール 厚さ mm
・ B種	※軽量鉄骨	・ 合板 (9mm)	・ 片面	
・ C種	単管	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	備考
※木製	※合板張り程度	・ 無し	
・	・	・ 片面	

3 防水改修工事

1. 施工数量調査

調査範囲及び方法

- ・ 図示
- 既存部分の破壊を行った場合の補修方法
- ・ 図示
- 調査報告書 提出部数: 2部

2. 改修用二重ドレン

- ・ 設ける (POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POX工法の場合) [3.2.5]

3. 既存防水の処置

既存保護層の撤去

- ・ 行う (範囲・図示)
- ・ 行わない

既存防水層の撤去

- ・ 行う (範囲・図示)
- ・ 行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装撤去

- ・ 行う (・M4AS・M4AS1・M4C・M4D1・L4X)
- ・ 行わない

既存防水層の下地補修

- ・ 図示

POAS工法及びPOSI工法 (機械式固定方法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした上り部等の処置

- ※改修標準仕様書による
- 3.2.6(4)(ウ)(g)①~③

[3.3.2~5] [表3.3.3~10]

屋根保護防水防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1			※' びん/びん/びん 厚さ0.15mm以上	・ 乾式保護材 (※図示)
	・ A-2				
	・ A-3				
・ PIB	・ B-1			※フラットヤーン クロス 70g/m程度	・ コンクリート押え (※JIS R 1250)
	・ B-2				
	・ B-3				
・ P2AI	・ AI-1		※JIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm		
	・ AI-2				
・ PIB1	・ BI-1				
	・ BI-2				
・ TIB1	・ BI-1				
	・ BI-3				

改質アスファルトルーフィングシート及び部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

- ※改修標準仕様書による 表3.3.3から表3.3.9

平場の保護コンクリートの厚さ

- こて仕上げ ※水下 80mm以上
- タイル張り ※水下 60mm以上

- ・ 乾式保護材
- ・ 産業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの。
- ・ 産業系パネルⅠ型 (寒冷地仕様)
- ・ 産業系パネルⅡ型 (一般地仕様)

- ・ 金属複合板: 金属板と樹脂を一体化させたもの。
- 表面材は不燃 耐衝撃性500g

屋根露出防水防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	高反射率防水の適用 [G]	備考
・ M4C	・ C-1				
	・ C-2				
	・ C-3				
	・ C-4				
・ M3D	・ D-1				脱気装置
	・ D-2				
	・ D-3				
	・ D-4				
・ POD	・ D-1				脱気装置
	・ D-2				
・ POD1	・ DI-1				脱気装置
	・ DI-2				
・ M3D1					脱気装置
・ M4D1					脱気装置

仕上塗装の種類及び使用量

- ※アスファルトルーフィング製造所の指定による

脱気装置の種類及び設置数量

- ※アスファルトルーフィング製造所の指定による

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

- ※図示

屋内防水 [表3.3.1、表3.3.10]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	保護層
・ PIE	・ E-1		・ 設ける

押さえ金物の材質、形状寸法

- ※アルミニウム製、L=30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

- ・ 適用する (施工範囲・図示)
- ・ 適用しない

5. 改質アスファルトシート防水 [3.4.2~3] [表3.4.1~3]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	高反射率防水の適用 [G]	備考
・ M4AS	・ AS-T1				
	・ AS-T2				
	・ AS-J2				
・ M3AS	・ AS-T3				脱気装置
	・ AS-T4				
	・ AS-J3				
・ POAS	・ AS-T1				脱気装置
	・ AS-T2				
	・ AS-J1				

仕上塗装の種類及び使用量

- ※改質アスファルトシートの製造所の指定による

脱気装置の種類及び設置数量

- ※改質アスファルトシートの製造所の指定による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

- ※改修標準仕様書による 表3.4.1から表3.4.3

屋根露出防水絶縁断熱工法の防雨用シート

- ・ 設置する
- ・ 設置しない

押さえ金物の材質、形状寸法

- ※アルミニウム製、L=30×15×2.0mm程度

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登記	作成日	2024/05	図面名	建築改修工事 特記仕様書 1	縮尺	A1: Non A3: Non	区分	建築意匠	図面番号	A特-01
-----	-----------------------------------	----	----	----	----	-----	---------	-----	----------------	----	-----------------	----	------	------	-------

5. 外壁用塗膜 防水材による改修 [4.1.5] [4.2.2] [4.7.2~6] [表4.2.6]
所要量の確認
工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書による 表4.2.6
外壁用塗膜防水材 [表4.2.6]
仕上げの形状 工法 下地準拠塗膜材 耐候性 施工箇所
凹凸状 ・吹付 ・適用する ・JIS A 6906 耐候性1種相当 ・図示による
凸部処理 ・適用する
ゆず肌状 ・ローラー ・適用しない
さざ波状
砂壁状、じゅらく状仕上げの模様材の種類 ・所用量 (kg/m²)
外壁用仕上塗料の種類 ・所用量 (Kg/m²)

5-2 ⑥ 鋼製軽量建具 [5.2.2] [5.5.2~4]
性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による)
防音ドアセット、防音サッシ ・適用しない
遮音性の等級 ()
断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
鋼板 ・垂吊めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ ・改修標準仕様書による 表5.5.1
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材
性能等級 [5.2.2][5.4.2] [5.6.2~5]
簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
・S-4 (建具符号: ・建具表による)
・S-5 (建具符号: ・建具表による)
・S-6 (建具符号: ・建具表による)
防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
ステンレス鋼板 ※SUS 304 ・ SUS 430JIL ・ SUS 443 JI
表面仕上げ ※ H L 仕上げ ・ 鏡面仕上げ
加工ゆがみ ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
10. 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 [5.7.2~4]
・フラッシュ戸 改修標準仕様書による 表5.7.2
表面材の合板の種類
表面材 (※図示) ・ ホルムアルデヒド放散量 (※F☆☆☆☆)
・かまち戸
かまち樹種 ()
見込み寸法 ※36mm
ふすま 【本工事はふすま紙の張替のみ】
ふすまの材料の種類 (Ⅰ型 Ⅱ型)
上張りの種類 (押入等の裏紙以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
ふすまの見込み寸法
ふすまの取付方法
縁上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクレーヤー塗装)
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・枠、くつずりの材料 ※建具表による
11. 建具用金物 [5.8.2~4]
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書による 表5.7.1及び表5.7.2
樹脂製建具に使用する丁番
※改修標準仕様書による 表5.7.3
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置
・900mm程度
マスターキーの製作 ・製作しない
・製作する ・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵 ※各室3本1組
錠箱 ・有り ・無し
12. 自動ドア開閉装置 [5.9.2~3]
自動ドア 開閉装置の性能 防錆 センサーの種類 凍結防止
・SSLD-1 ※改修標準仕様書
・SSLD-2 による 表5.8.1
・DSL-1
・DSL-2
・適用する
・適用しない
・光線(反射)センサー
・熱線センサー
・音波センサー
・光電センサー
・電波センサー
・タッチスイッチ
・押しボタンスイッチ
・多機能トイレスイッチ
戸の開閉方式 ・建具表による
凍結防止装置 ・適用する ・適用しない
13. 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]
自閉式上吊り引戸装置の性能値
※改修標準仕様書による 表5.10.1
14. 重量シャッター [5.10.2~3]
シャッターの種類
・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
二重付フ、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッター ※図示
障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示
屋内防火シャッターまたは防煙シャッターの急降下止機構
・設ける ※障害物感知装置(自動閉鎖型)
・可動駆動式
・設けない
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
・JIS G 3312(溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※Z12又はF12
ガイドレール、まぐさ、雨振り用いる産板及び産板のカバー、雨振り用いるスイッチボックス類の産板の材質 ・ステンレス鋼板
15. 軽量シャッター [5.11.2~4]
開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質 ・JIS G 3312(溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※Z06又はF06
・JIS G 3322(溶融亜鉛55%Zn-5%Al-亜鉛合金めっき鋼板)
めっきの付着量 ※AZ90
スラットの形状 ・インターロック型
・オーバーラッピング型
障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示

5-3 16. オーバーヘッドドア [5.12.2~4]
⑦ ガラス
セクション材料による区分 耐風圧区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・1250 ※バランス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ ・1000 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ ・750 ・電動式 ・ハイリフト形 (※SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1)
・パーチカル形
障害物感知装置を設けた電動タイプ ※図示
[3.7.2] [5.14.2~4] [図5.14.1]
・特記仕様書に無き種類・品質・厚さ等は図示(建具表)による
・フロート板ガラス ※品質、厚さは建具表による
・型板ガラス ※品種、厚さは建具表による
・網入板ガラス及び網入板ガラス ※建具表による
・合わせガラス
種類 構成種類 球面衝撃はく離特性ショットバック衝撃特性
※建具表による ・Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
⑧ 強化ガラス
材料板ガラスによる種類 種類 破片の形状及びショットバック衝撃特性
⑨ フロートガラス ① フロート強化ガラス ・Ⅰ類
② 熱線吸収強化ガラス ② Ⅲ類
⑩ 型板ガラス ① 型板強化ガラス
・熱線吸収板ガラス
品 種 性能 色 調
・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入層板ガラス ・2種
・複層ガラス 板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による
品 種 断熱性の区分 日射取得性、遮へい性による気体透過率の種類
・断熱複層ガラス ・T1 ・T3 ・T5 ・G ・S ・空気
・アルゴン
・日射熱遮へい 複層ガラス ・T1 ・T3 ・T5 ・G ・S ・空気
・アルゴン
・T2 ・T4 ・T6
・熱線反射板ガラス
品 種 日射 遮へい性 耐久性による区分 色 調
・熱線反射ガラス ・1種 A種 ・ブルー
・グレー
・ブロンズ
・高機能熱線反射ガラス ・2種 ・A種・B種
・3種 B種 ・シルバー
反射 被膜面 ・内面 ・外面
映像調整 ・行う ・行わない
⑪ 倍強度ガラス
材料板ガラスによる種類 厚さ(mm) 色 調
・フロート倍強度ガラス
・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ
ガラス留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ※建具製造所の仕様による
・グレイジングチャンネル形 ・図示
鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による
ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による
[5.13.5]
表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 クリヤ乳白 平積み 曲面積み 伸縮調整目地(mm) 防火性能
正方形 ・125×125 ・80 ・ ・ ※8~15 外側 ※15以下 幅10~25 ・無し
・160×160 ・95 ・125 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・有り
・200×200 ・95 ・125 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・320×320 ・95 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
長方形 ・250×125 ・80 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・320×160 ・95 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロック幅寸法の10倍以上とする。
型用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示)
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状腹筋及び単筋
化粧目地モルタルの色 ()
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示
形状 ・図示
シーリング材の種類 ()
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(Ⅰ・Ⅰ.15・Ⅰ.3)倍の風圧力に対応した工法
自地部の力骨の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示
種類 記号 その他の性能等
・日射調整フィルム [G] ・S-C-1 ・S-C-2
・低放射フィルム ・L E
・衝撃吸収対応ガラス 飛散防止フィルム ・G-1-1 ・G-1-2
・飛散吸収対応ガラス 飛散防止フィルム ・G-D-1
・ガラス貫通防止フィルム ・S F
品質 JIS A 5759による

6 ① 改修範囲 [6.1.3]
既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ② 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁厚より側面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ③ 図示
天井の撤去に伴う取り合う開口壁の改修
※既存のまま ④ 図示
② 既存床の撤去、下地補修 [6.2.2]
ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・撤去範囲全て
・下地モルタルとも(・図示)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目直し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※全範囲
③ 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]
開口壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書によるモルタル塗り 4.4.9
(塗り厚 25mm を超える場合の補修 ※図示)
[6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]
種類(機械加工) 適用箇所 種別(手加工) 適用箇所
・A種 ・H-A種
・B種 ・H-B種
・C種 ・H-C種
⑤ 製材 [G] [6.5.2]
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「製材の日本農林規格」による製材
⑥ 下地用針葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率
⑦ 見え掛り面 ⑧ 見え掛り面以外
⑨ 広葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率
⑩ 化粧ばり構造用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 関係材等の適用
⑪ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 含水率 関係材等の適用
⑫ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 含水率 関係材等の適用

工事名 岩手県立二戸地区特別支援学校(仮称) 体育館改修(建築)工事
製 図 担 当 検 印 登 記
作 成 日 2024/05
設計番号 2023-001
図面名 建築改修工事 特記仕様書 3
縮尺 A1: Non A3: Non
区 分 建築意匠
図面番号 A特-03

6-2 内装改修工事

7 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

※単板積層材の日本農林規格による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	関係材等の適用	
移動階段	・表示	・有 (加工: 天然木化粧加工・塗装加工) ・無 (等級: 1等)	・適用する ・適用しない	・ ・	
・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材					
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	関係材等の適用
		・有 (加工: 天然木化粧加工・塗装加工) ・無 (等級: 1等)	※14%以下	・適用する ・適用しない	・ ・
		・有 (加工: 天然木化粧加工・塗装加工) ・無 (等級: 1等)	※14%以下	・適用する ・適用しない	・ ・

・CLT (直交集成板)

施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	関係材等の適用
							・表示 ・表示

8 床張り用合板等

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

下地用合板

・普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	関係材等の適用
	※5.5	・表示	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・ ・
	・表示	・表示	・1類 ・2類	・ ・	・適用する ・適用しない	・ ・

9 構造用合板

【鋼製床下地は鋼製床メーカ仕様による】

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	保水処理の適用	防虫処理	強度等級	関係材等の適用
	※2級以上 ・1級	・表示	※1類 ・特類	※C-D以上	※12等	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・ ・
	※2級 ・1級	・表示	※1類 ・特類	・ ・	・ ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・ ・

化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	備考	関係材等の適用
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・ ・	・ ・

天然木化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	備考
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・ ・

特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	備考
			・1類 ・2類	・ ・	・ ・	・適用する ・適用しない	・ ・

パーティクルボード

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
	・	※13P, 13M, 17	※P又はM	・ ・	※15

構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ (mm)
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級	

ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	関係材等の適用
	・	・30タイプ ・25タイプ ・15タイプ ・5タイプ	・Uタイプ ・Pタイプ ・Tタイプ	・難燃2 ・難燃3	・ ・	・ ・

9 接着剤

接着剤は可塑剤 (揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。難燃性のものとする。

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

・表示

10 防霉、防蟻処理

・防霉・防蟻処理が必要な樹種による製材

適用部位: ()

・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
・	・K2 ・K3 ・K4
・	・K2 ・K3 ・K4
・	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布による防霉・防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
・	※改修標準仕様書による 6.5.5(1)②A~E	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防霉・防蟻処理

適用部位: ()

6-3 内装改修工事

11 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外 ・ 19型 ※25型
屋内 ※19型 ・ 25型

・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法とする

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 改修仕様による 6.6.3
周辺部の端からの間隔 改修仕様による 6.6.3
野縁の間隔 改修仕様による 6.6.3

既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない
あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う ・ 行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※ 図示 ・ 1カー仕様による

・天井のふとところが1.5m以上3.0mの場合
補強方法 ※ 改修標準仕様書による

・天井のふとところが3.0mを超える場合
補強方法 ※ 図示 ・ 1カー仕様による

・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 図示
補強方法 ※ 図示

・開口部の補強 ※改修標準仕様書による

6.6.4(8)(ア)(イ)
6.7.4(5)(6)

12 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書によるスタッド高さによる区分に応じた種類
スタッドの高さが0.5mを超える場合 ※ 図示

13 ビニル床シート

ビニル床シート

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	施工箇所	備考
※FS	・無地 ・マフシ柄 ・柄物	※2.0 ※2.5 ※3.0	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防汚性 ・耐薬品性	※ 図示	・ ・

ビニル床タイル

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ (mm)	備考
※KT	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・100×914.4	・帯電防止 ・防汚性	※2.0 ※2.5 ※3.0 ※5.0	※ 図示

目地処理する場合の工法 ※ 熱溶接工法

・
・

ビニル床タイルの種類・形状 (種類: 形状:)

ビニル幅木 材質: 軟質 ・ 硬質
高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100
厚さ (mm) ※ 1.5以上

ゴム床タイル

色柄 ()

厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0

寸法 (mm) ()

特殊機能

帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上~ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ~ 1x10 Ω程度

下地がセメント系、木質系以外の場合の接着剤の種類
※床材製作所の仕様による

[表6.8.1、表6.8.2]

14. カーペット敷き

・織じゅうたん

バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考(参考品番)
・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェース カーペット ・アキスミンスター カーペット	※ 無地 ・柄物 (標準品)	・適用する ・適用しない	・ ・

無地の織じゅうたんの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種

下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

組合せ方法 ※ ヒートボンド工法

・タフテッドカーペット

バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考(参考品番)
・カットバイル	※ 5~7	※ 全面接着工法	・適用する	・
・ループバイル	※ 4~6	・グリッパー工法	(性能: ※ 人体耐電圧 3kV 以下)	・
・レベリングバイル	※ 4		・適用しない	・

下敷き材 (グリッパー工法の場合)
※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・ニードルパンチカーペット

厚さ (mm) ()

帯電性 ・ 適用する (性能: ※ 人体耐電圧 3kV 以下)
・ 適用しない

備考 ()

・タイルカーペット

バイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	脱厚さ (mm)	備考
※ループバイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 図示	※ 500×500	※ 6.5	・
・カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	・
・カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	・

タイルカーペットの敷き方

平場 ※ 市松敷き ・ 横線流し
階段部分 ※ 横線流し ・ 市松敷き

見切り、押え金物 材質 ()
種類 ()
形状等 ※ 図示

6-4 内装改修工事

15. 合成樹脂塗床

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流し膜べ工法 ・ 厚膜流し膜べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

16 フローリング張り

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	仕上塗装	関係材等の適用
・フローリング ボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅 75 板長さ 400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・ ・
	・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅 75 板長さ 400以上	・ ・	・ ・
	・ 接着工法	※ なら	・ 8以上	板幅 75 板長さ 400以上	・ ・	・ ・
・フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	15	303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・ ・

複合フローリング

種類	工法	樹種	種別	防湿処理及び仕上塗装	厚さ・大きさ (mm)	関係材等の適用
・天然木化粧複合 フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	・ A種 ・ B種 ・ C種	防湿処理 ・ 適用する ・ 適用しない	厚さ 12以上 15以上 長さ 900以上	・ ・
	・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 表示	・ 適用する ・ 適用しない	厚さ 12以上 長さ 900以上	・ ・
	・ 接着工法	※ なら	・ A種 ・ B種 ・ C種	仕上塗装 ・ 塗装品 ・ 無塗装品	板厚 12以上 板幅 75以上 板長さ 450以上 900以上	・ ・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

接着工法の場合の継ぎ材 ※ 合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上

・ 行う (施工箇所)
※ ウレタン樹脂ワニス塗り
・ オイルステインの上、ワックス塗り
・ 行わない ① 地のままワックス塗り

17. 畳敷き

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
(畳表: KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)

下地の種類 ・ 改修仕様による床組 表12.6.1
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)

畳表及び床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

畳表替え 索引 1等 J1
施工箇所 (図示)

18. セッコウボードその他
ボード及び合板張り

種類	JIS記号	厚さ (mm)、規格等
・硬質毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・中質毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・普通毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・硬質毛片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21
・普通毛片セメント板	NF	・ 30
・かい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2 (無石綿) 8 ・ 8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (9 (不燃) ・ 12 (不燃)) ・凹凸タイプ (12 (不燃) ・ 15 (不燃))
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 50 (ガラスクロス包)
・セッコウボード	GB-R	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 9.5 (準不燃)
・不燃積層セッコウボード	GB-N-C	9.5 (不燃) ・ 化粧用 (下地張り用) ・ 化粧用 (トラバーチン模様)
・シーリングセッコウボード	GB-S	12.5 (不燃) ・ 準不燃
・強化セッコウボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・セッコウラスボード	GB-L	9.5
・化粧セッコウボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 ・ 板目 ・ 板目
・化粧セッコウボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)

6-5 内装改修工事

19. 壁紙張り

普通合板

表面の材質	仕上の種類
生地、透明塗料塗り (※ラウン程度) ・ 表示 不透明塗料塗り (※しな程度) ・ 表示	
板面の品質 () 厚さ (mm) (5.5) 接着の程度 (1類 ・ 2類) ・ 防虫処理	
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理
・特殊加工化粧合板	特殊加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 厚さ (※ 1.2)
・ポリエステル樹脂化粧板	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ミチアムデンシティファイバーボード	・ 未研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・単板張りパーティクルボード	・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)
・化粧パーティクルボード	・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード)
・ハードボード (素地)	・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
・ハードボード (化粧)	A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上)
・インシュレーションボード	1B ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

セッコウボード等の下地は図示による。

遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド)
・ 適用しない

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

合板類の張付け ※ B種 ・ A種

セッコウボードの目地工法 ・ 仕上げ表による

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

施工箇所	壁紙の種類	防火防別	備考(参考品番)
図示	紙 繊維 (フサフサ) 無機質 その他	※ 不燃 ・ 準不燃	・ ・
・	・	※ 不燃 ・ 準不燃	・ ・
・	・	※ 不燃 ・ 準不燃	・ ・

モルタル・プaster一面の地下調整 ※ R B種
コンクリート・ALC一面の地下調整 ※ R B種
セッコウボード面の地下調整 ※ R B種

19. 3-6

材料 ・ 現場調合材料 (セメントは改修仕様書による) 8-2コンクリート工事
・ 既調合材料 ()

既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示)
・ 設けない

床目地 ・ 設ける (工法: ※ 押し目地) ・ 設けない

壁モルタル塗りの厚さが25mmを超える場合の地下処理 ()

・ 防水剤の品質・性能

項目	品質・性能
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	※ セメント重量の5%以下
凝結時間	凝結時間 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内
凝結及び安定性	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりについて観察する。
曲げ及び圧縮強度比	70%以上
吸水比	95%以下
透水比	80%以下

19. 21

伸縮調整目地の位置

床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと) ・ 図示 ()
床タイル以外 (図示)

伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修仕様書による第3章

・セメントモルタルによるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐薬害性	備考(参考品番)
								・ ・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

既調合モルタル ・ 適用する (品質等:)
コンクリート素地面の処理
・ MCR工法 ・ 目貫し工法

・ 接着剤によるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐薬害性	備考(参考品番)
								・ ・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

22. セルフレベリング材塗り

種類	厚さ (mm)
・セッコウ系	
・セメント系	
品質	※改修標準仕様書による表6.17.1
塗厚 (mm)	

工事名	製図	担当	検印	登記	作成日	図面名	縮尺	区分	図面番号
岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事					2024/05	建築改修工事 特記仕様書 4	A1: Non A3: Non	建築意匠	A特-04
					設計番号	2023-001			

7 塗装改修工事

1 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所)

2 下地調整

塗替えR/B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・ 図示

Table with columns: 下地調整, 下地調整の種類, 塗替え, 新規, ひび割れ部の補修. Rows include 木部, 鉄鋼面, 亜鉛めっき鋼面, etc.

3 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種類 [7.3.2~3]

Table with columns: 塗装面, 種類, 工程. Rows include 鉄鋼面, 亜鉛めっき鋼面, etc.

4 塗装

[7.4.2~7.13.2]

Table with columns: 塗装の種類, 塗装面, 塗替え, 新規. Rows include 合成樹脂調合ペイント塗り, 耐候性塗料塗り, etc.

つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード、その他のボード面)の塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書の下塗りとししき止めシーラーとする [表7.9.1の工程1の下塗り]

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書の下塗りとししき止めシーラーとする [表7.10.1の工程1の下塗り]

高日射反射塗料塗り [G]
下地調整 R A種 R B種 R C種 [表7.2.2]

Table with columns: 工程, 塗料その他, 塗付け量. Rows include 塗料塗り, etc.

8 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の処理工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲 ()
貸与資料 ()

分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソチル、クロシドライト及びびトレモライト
分析方法

Table with columns: 材料名, 定性分析, 定量分析. Rows include 監督員との協議による, etc.

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示

石綿粉じん濃度測定
※適用する ・ 適用しない [9.1.1]
測定時期、場所及び測定点

Table with columns: 適用, 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定点. Rows include 測定1, 測定2, etc.

測定方法
・ 自動測定器による測定
測定名称 測定方法

Table with columns: 測定名称, 測定方法. Rows include 測定4, 測定5, etc.

JIS K 3850-1に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ直径 (mm) 試料の吸引流量 (l/min) 試料の吸引時間 (min)

Table with columns: 測定名称, メンブレンフィルタ直径, 試料の吸引流量, 試料の吸引時間. Rows include 測定4, 測定5, etc.

石綿含有建材の処理
・ 石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示
除去工法 ※改修標準仕様書による 9.1.3(2)(ア)

除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
※ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有保温材の除去
除去対象範囲 ・ 図示
除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※ 湿潤化 ・ 固形化

除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)

・ 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・ 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・ 石綿含有せっこうボード
※ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有仕上塗材の除去
※ 図示による 【除去工法 本特記仕様書4.3(4)参照】
・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事
※ 図示による

本特記仕様書第3章による

2. 断熱アスファルト防水改修工事 [9.2.1~3]

3. 外断熱改修工事 [9.3.2~4]

Table with columns: 種類, 厚さ (mm). Rows include ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材, etc.

施工箇所 ・ 図示
ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

Table with columns: 種類, 防火性能, 備考. Rows include 外装材, etc.

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書による

8-2 環境配慮改修工事

5. 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]

工法
不陸等の下地調整 ・ 外装材製造所の仕様による
透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
・ 断熱材打込み工法

Table with columns: 種類, 厚さ (mm). Rows include ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材, etc.

施工箇所 ・ 図示
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 (JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)
・ A種1 ・ A種1H

厚さ (mm) ・ 25 ・ 30
施工箇所 ・ 図示

断熱材後張り工法
断熱材の種類 (JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材)
厚さ (mm) ()
施工箇所 ・ 図示

6. 屋上緑化改修工事 [9.4.1~4]

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない
定及び地被類の種類並びに種類等 ※ 図示
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示

(品質・性能)

Table with columns: 項目, 性能. Rows include 透水、排水層等構成材の主要材質, 透気層, etc.

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

かん水装置 ・ 設置する (種類)
既存保護層の撤去 ・ 行う (改修標準仕様書による) [3.2.3]
・ 行わない

新植した芝及び地被類の枯保の期間 ※引渡の日から1年

7. 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~9]

既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

路床
路床の材料

Table with columns: 種類, 材料, 厚さ (mm). Rows include 盛土, 凍上抑制層, etc.

路床安定処理
・ 適用する ・ 適用しない
路床安定処理の方法
・ 添加材料による安定処理
・ 路床安定処理用添加材料

種類
・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G]
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 (・特号 ・1号) ・ 消石灰 (・特号 ・1号)

添加量 kg (目標CBR ・ 3 以上)
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・ 安定処理土のCBR試験

8-3 環境配慮改修工事

試験
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の厚さ ・ 図示
路盤材料

Table with columns: 種類, 厚さ (mm). Rows include 砕石, 再生材, etc.

舗装の構成 ・ 図示
調製度アスファルト混合物等の抽出試験
・ 行う ・ 行わない

舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの

建設場所	二戸市石切所字火行塚2番1
敷地面積	46,930.20㎡
用途地域	準工業地域
建築率	60%
容積率	200%
主要用途	学校：特別支援学校（小・中部）
外壁の後退距離	—
高さ限度	—
高度地区	指定なし
防火地区	指定なし
日影規制	—
景観ゾーン区分	一般地域（市街地景観地区）
屋外広告物条例	—
文化財保護法	—
宅地造成等規制法	規制区域外
開発許可	—
下水処理地域	—
前面道路幅員	東側10m
関係法規	法22条区域 都市計画区域：区域区分非設定

【既存建物 面積表】

通し番号	種名	延床面積	建築面積	構造・階数	耐火建築物等	設備等	確認済証	交付日	備考	検査済証	備考
1	ポンペ屋	7.65㎡	7.65㎡	RC造・1階建て	その他						
2	環境システム科実習棟（北）	708.04㎡	387.35㎡	鉄骨造・2階建て	準耐火建築物		S47.7.17	第18-3	S48.1.31	第7-368	
3	柔剣道場	300.59㎡	340.75㎡	鉄骨造・1階建て	その他		S48.8.8	第18-4	※既存不適格建築、現状の調査書提出		
4	電気情報システム科実習棟	1227.94㎡	662.54㎡	RC造・2階建て	準耐火建築物	屋内消火栓	S52.8.27	第2-2	S53.2.18	第6-6	
5	体育館	613.90㎡	701.79㎡	鉄骨造・1階建て	その他		S57.7.6	第26-1	S58.2.1	第26-7	
6	部室	256.00㎡	191.36㎡	RC造・2階建て	その他		H1.7.14	第2-2	H2.2.5	第6-7	
7	音楽科実習棟	478.96㎡	255.00㎡	RC造・2階建て	その他		H5.9.29	第2-9	H6.3.16	第6-7	
8	環境システム科実習棟（南）	1228.04㎡	543.64㎡	RC造・3階建て	耐火建築物		H6.7.6	第2-1	H7.9.25	第6-15	
9	渡り廊下（A）	67.50㎡	67.50㎡	鉄骨造・1階建て	その他		H6.7.6	第2-1	H7.9.25	第6-15	
10	環境システム科実習棟（西）	630.96㎡	572.42㎡	RC造・2階建て	その他		H5.9.29	第2-9	H6.3.16	第6-7	
11	音楽・体育館	1276.57㎡	1482.97㎡	鉄骨造・1階建て	その他	屋内消火栓	H10.7.3	第2-4	H11.2.25	第6-16	
12	弓道場（的場）	89.97㎡	117.83㎡	木造・1階建て	その他		H13.10.16	第4-11	H14.3.12	第81-10	
13	弓道場（射野場）	8.10㎡	49.93㎡	木造・1階建て	その他		H13.10.16	第4-11	H14.3.12	第81-10	
14	開放遊り廊下1	—	15.66㎡	鉄骨造・1階建て	その他						
15	開放遊り廊下2	—	51.00㎡	鉄骨造・1階建て	その他						
16	開放遊り廊下3	—	11.36㎡	鉄骨造・1階建て	その他						
17	開放遊り廊下4	—	22.75㎡	鉄骨造・1階建て	その他						
18	開放遊り廊下5	—	18.60㎡	鉄骨造・1階建て	その他						
19	開放遊り廊下6	—	34.35㎡	鉄骨造・1階建て	その他						
20	管理・倉庫棟	2928.08㎡	1640.25㎡	木造・2階建て	準耐火建築物（イ）	屋内消火栓	R1.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
21	環境システム科実習棟	1189.44㎡	710.45㎡	RC造・2階建て	耐火建築物		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
22	渡り廊下（北）	45.75㎡	45.75㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
23	渡り廊下（西）	29.12㎡	29.12㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
24	管理棟	32.54㎡	32.54㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
25	自転車置き場1	22.26㎡	22.26㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
26	自転車置き場2	22.26㎡	22.26㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
27	物置	3.30㎡	3.30㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
28	物置	3.30㎡	3.30㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
29	物置	2.40㎡	2.40㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
30	物置	9.34㎡	9.34㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
31	物置	7.80㎡	7.80㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
32	物置	1.80㎡	1.80㎡	鉄骨造・1階建て	その他		R3.2.9	第2-3号	R3.3.3	第802-14	
33	変圧機1	4.00㎡	4.00㎡	SUS製貯蔵品	その他						
34	消火ポンプ	4.00㎡	4.00㎡	SUS製貯蔵品	その他						

【申請建物 面積表】

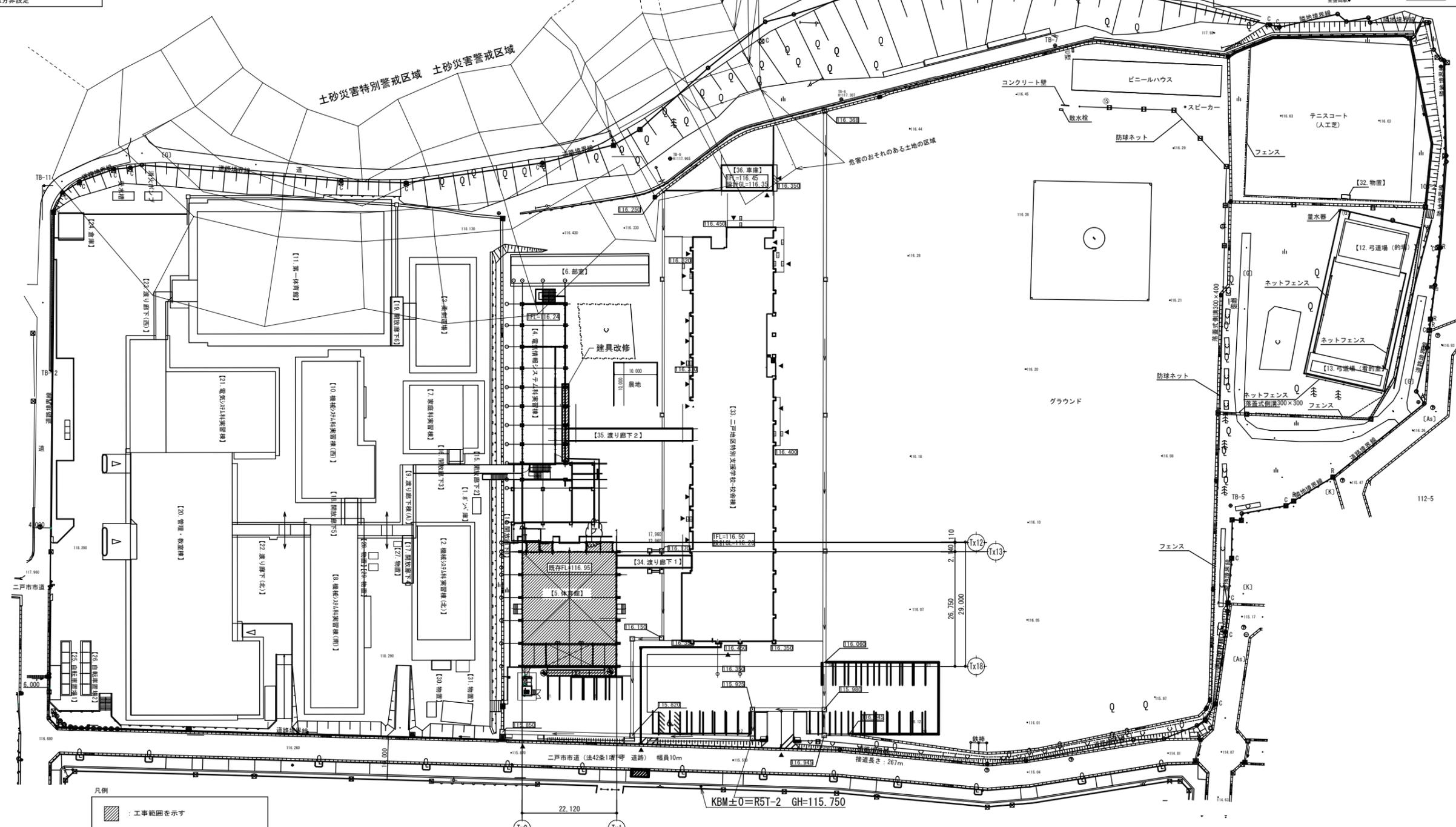
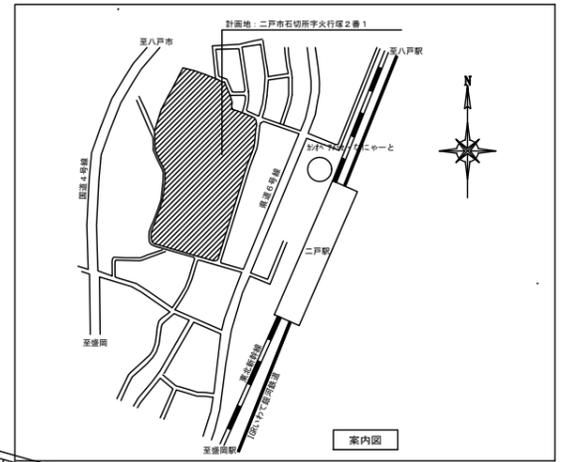
通し番号	種名	延床面積	建築面積	構造・階数	耐火建築物等	設備等
35	二戸地区特別支援学校 校舎棟	3366.35	2003.01	RC造・2階建て	準耐火建築物	屋内消火栓
36	渡り廊下1	47.81	47.81	鉄骨造・1階建て	準耐火建築物	
37	渡り廊下2	80.21	81.98	鉄骨造・2階建て	準耐火建築物	
38	庫裏	72.00	72.00	鉄骨造・1階建て	その他	
39	変圧機2	4.00	4.00	SUS製貯蔵品	その他	

【構造別 延床面積表】

構造別	延床面積	備考
耐火建築物	2417.48㎡	
準耐火建築物	8348.47㎡	
その他	4294.97㎡	
合計	15060.92㎡	

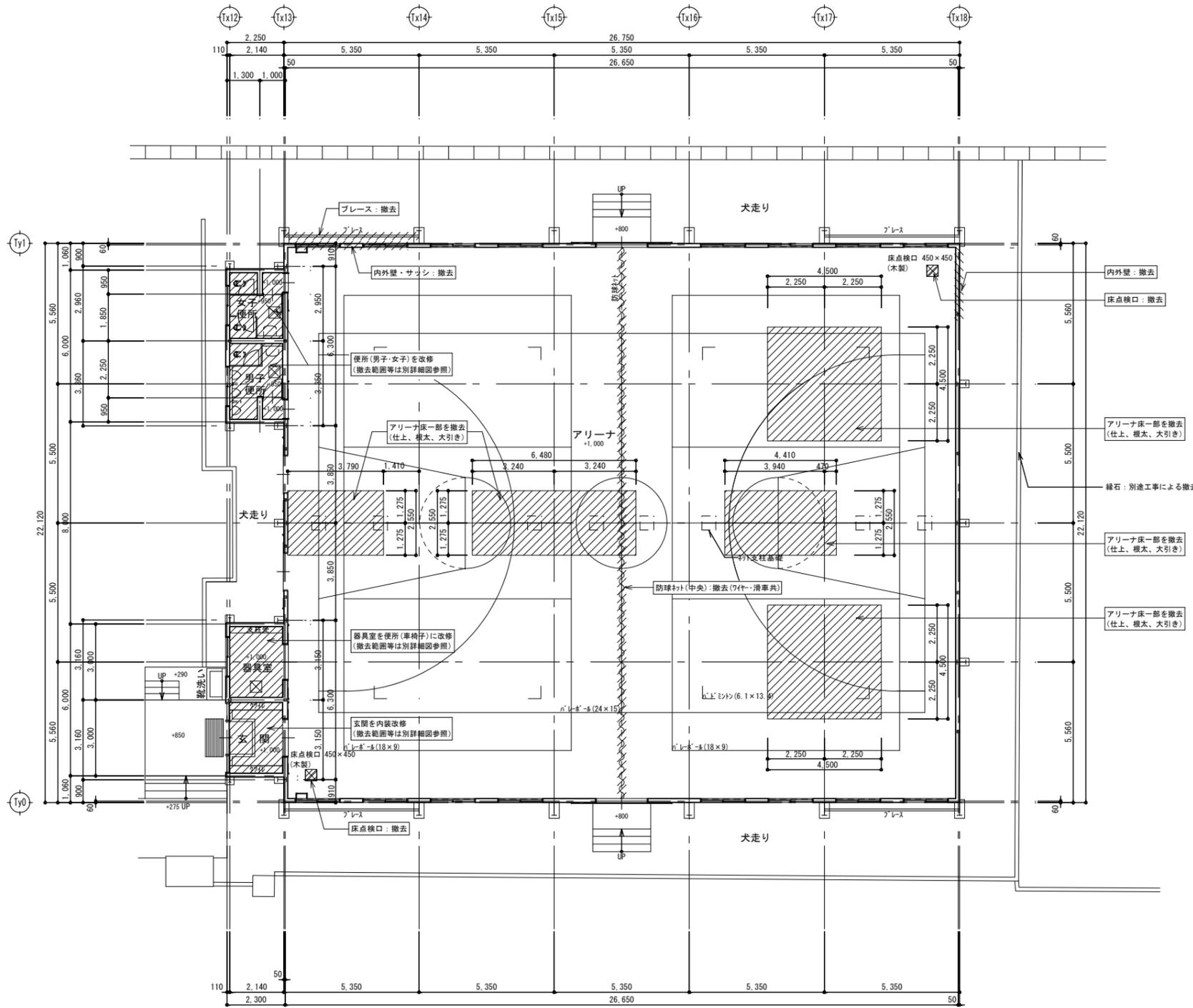
【敷地内 面積表】

面積	既存建物	申請建物	合計
床積	11500.21	3560.37	15060.58㎡
建築面積	8018.63	2203.41	10222.04㎡



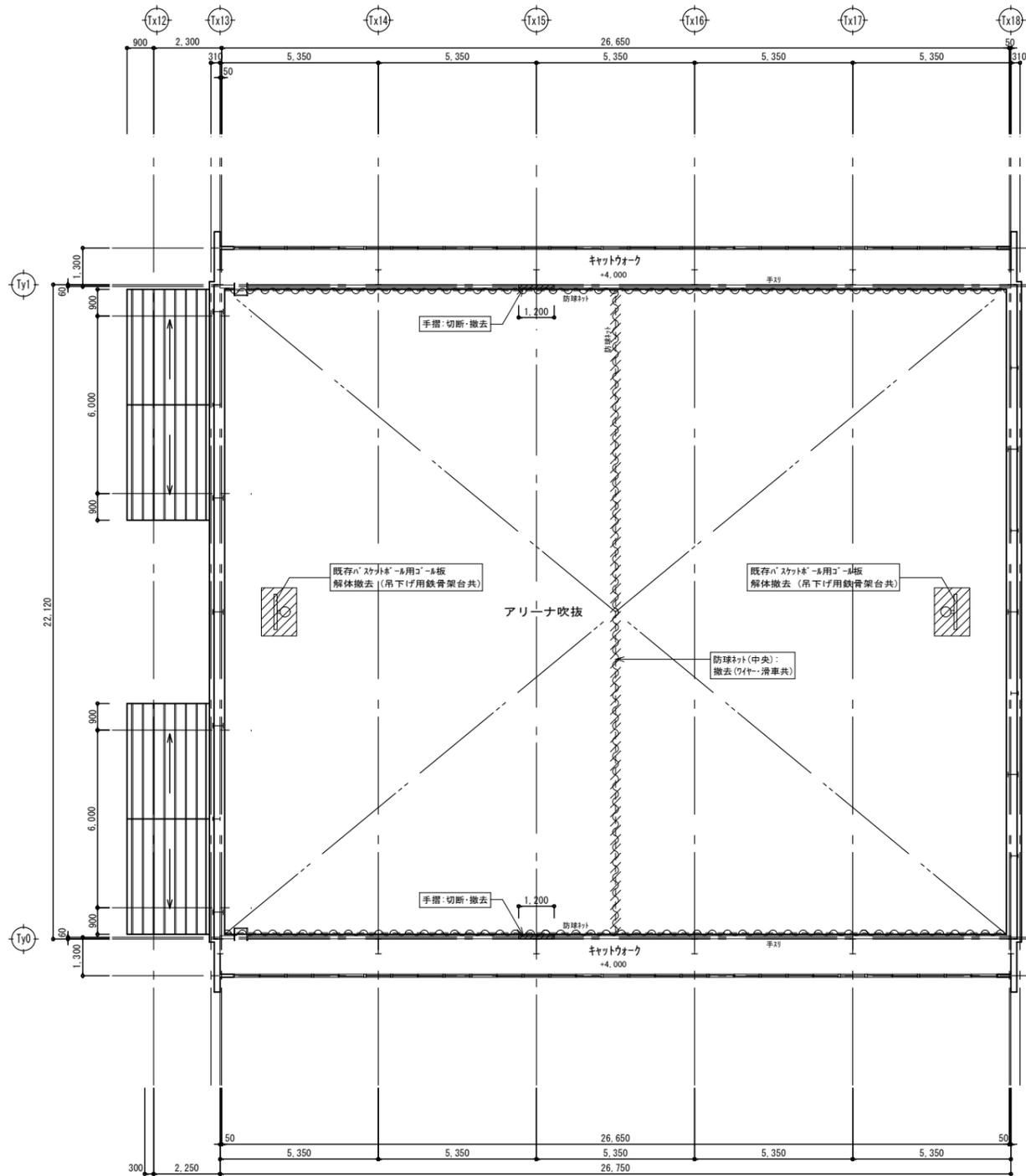
凡例
 : 工事範囲を示す

工事項	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製図	担当	検印	書記	作成日	2024/05	図面名	配置図	縮尺	A1: 1/500 A3: 1/1000	区分	建築意匠	図面番号	A-01
		設計番号	2023-001												

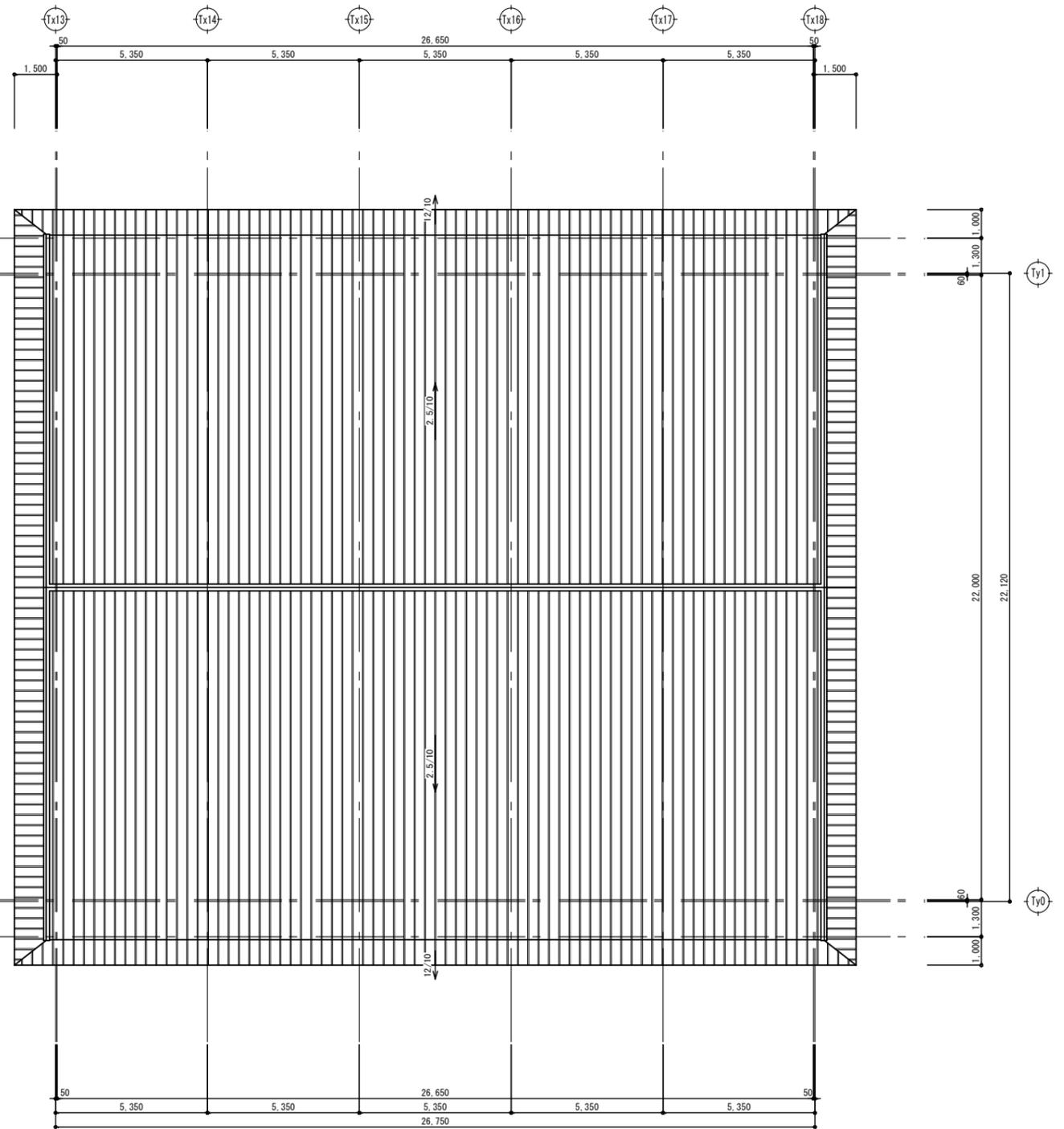


凡例
 : 撤去範囲を示す

工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図面名 既存 1階 平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	区 分 建築意匠	図面番号 A-03
						設計番号	2023-001				



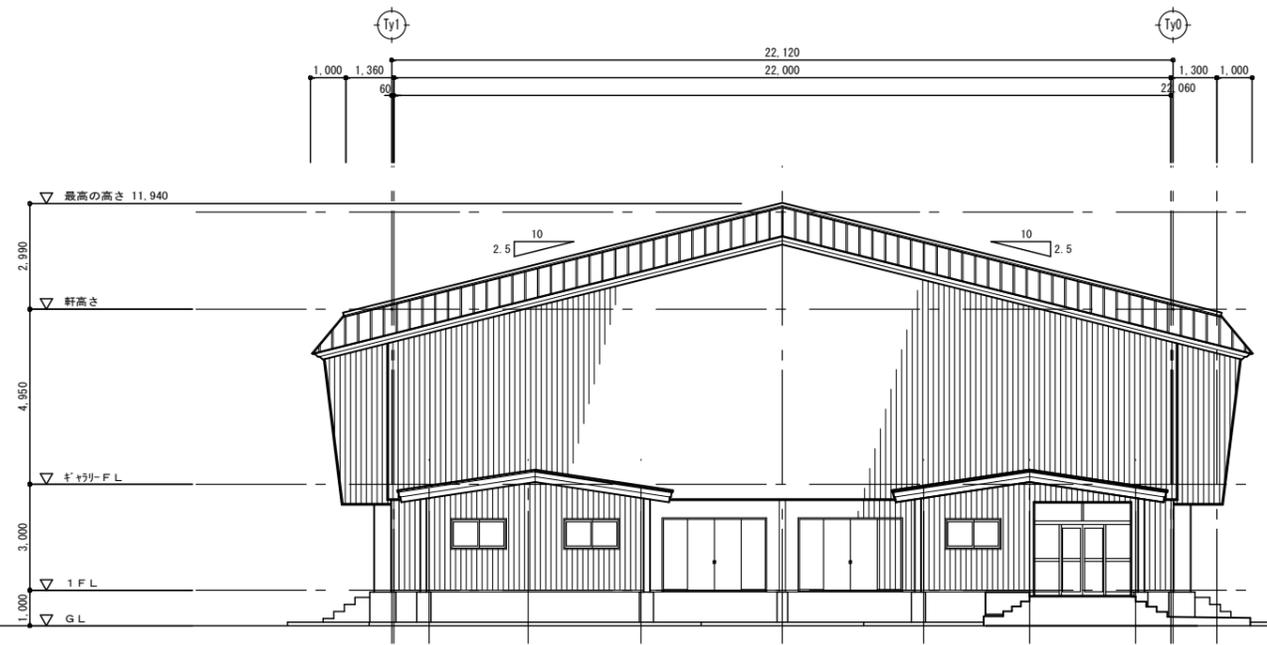
キャットウォーク平面図



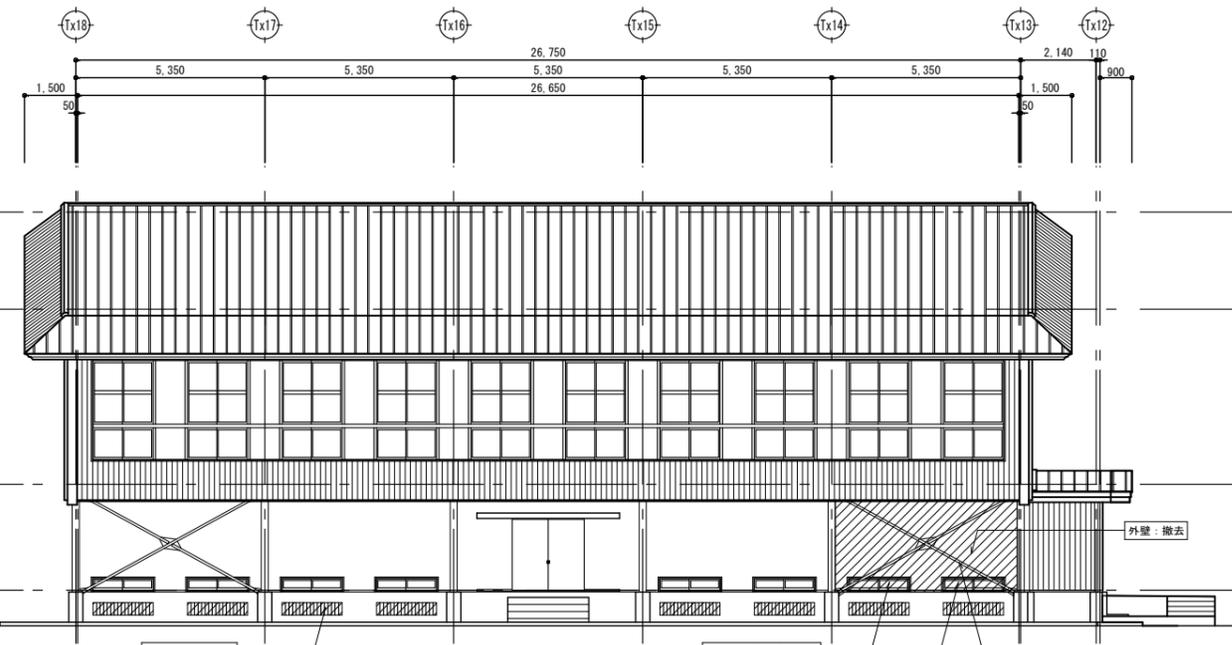
屋根平面図

凡例
 : 撤去範囲を示す

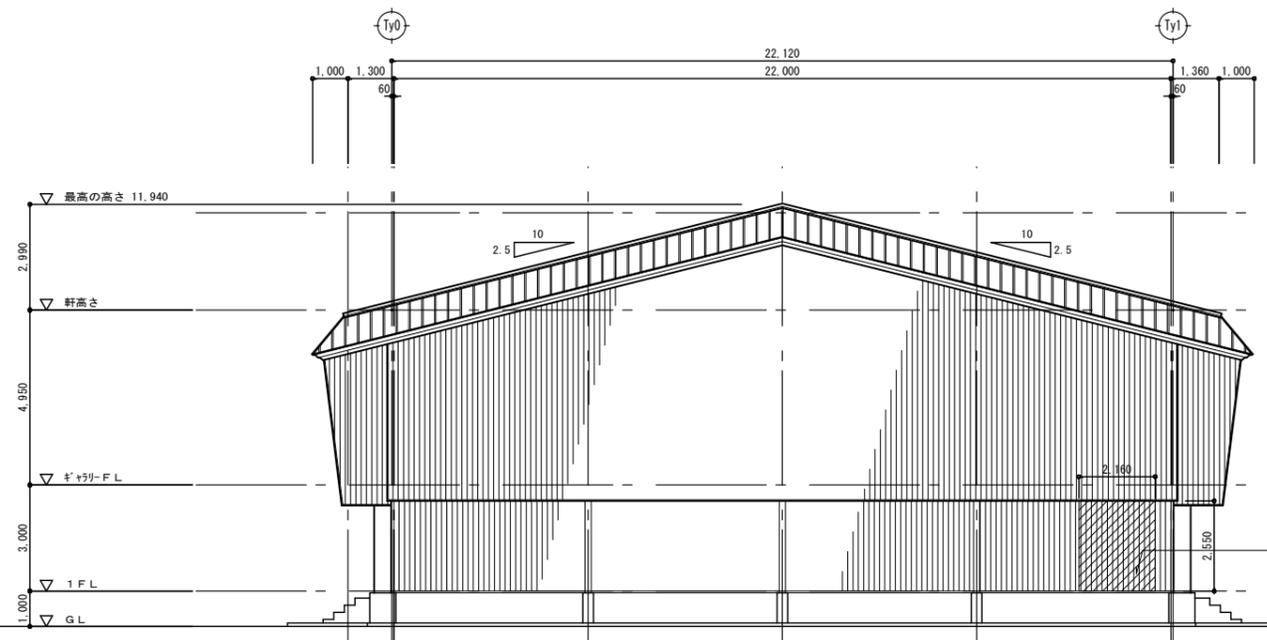
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名 既存 キャットウォーク ・屋根 平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	区分 建築意匠	図面番号 A-04
						設計番号	2023-001				



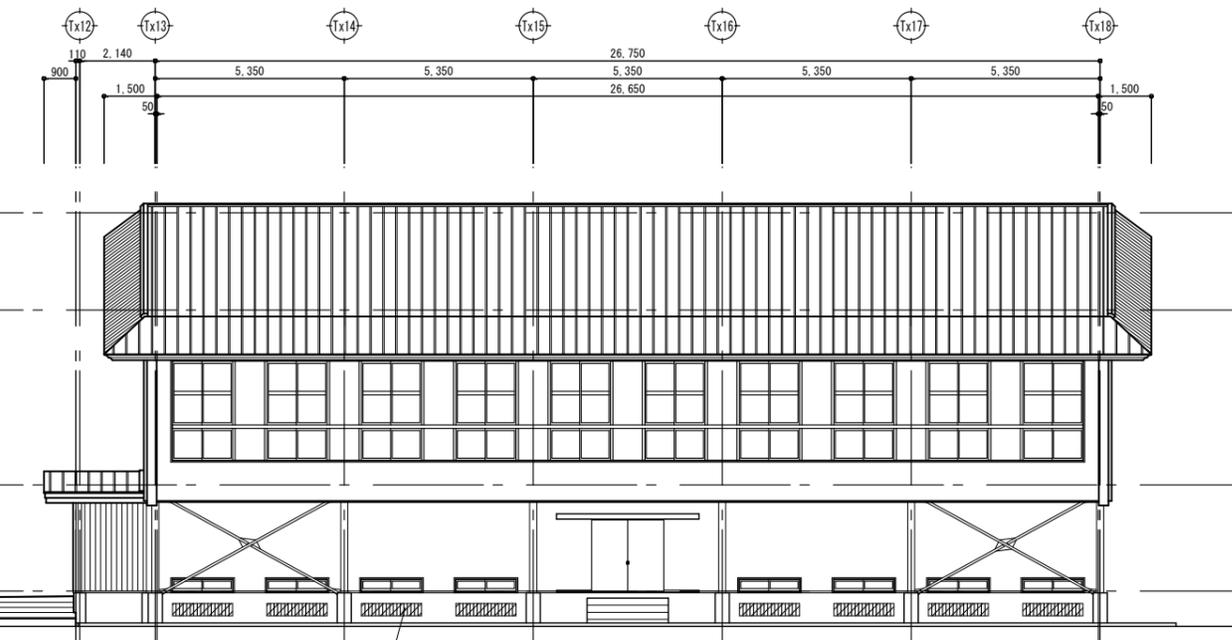
既存 西側立面図



既存 北側立面図



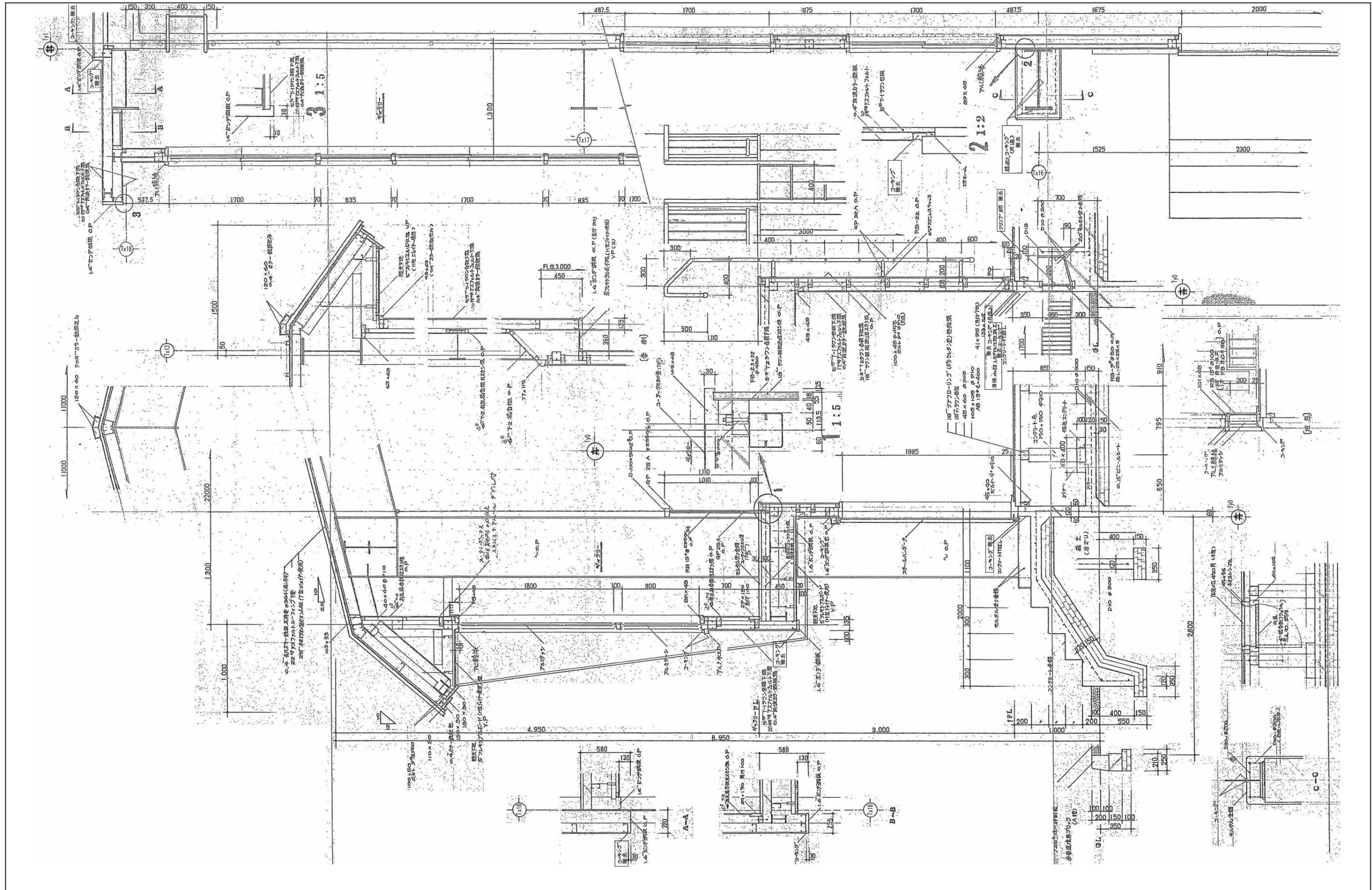
既存 東側立面図



既存 南側立面図

凡例
 : 撤去範囲を示す

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	縮尺	区分	図面番号
					設計番号						



工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	特 記	作 成 日	2024/05	図面名	既存 矩計図	縮尺	A1:1/20, 5.2 A3:1/40, 10.4	区 分	建築意匠	図面番号	A-06
		設 計 番 号	2023-001												